

花粉の少ないスギを開発しました

1. 概要

国立研究開発法人森林総合研究所林木育種センター東北育種場では、宮城県と連携して少花粉スギ2品種を開発しました。

2. 開発品種と開発までの経緯

1) 開発した品種

品 種 名			選抜地
少花粉スギ	精英樹	加美1号	宮城県
少花粉スギ	精英樹	遠田2号	

2) 開発までの経緯

東部育種区¹に設定した検定林において、5年間雄花の着花量を調査して、ほとんど着花しないものであり、5年次の成長や20年次時点での成長、通直性において良好な特性を有しているクローンとして、「加美1号」と「遠田2号」が選定され、少花粉スギとして開発されました。

3. 開発の意義と今後の活用

宮城県は、東北地方最大の都市である仙台市を抱えており、花粉発生源対策も課題となっています。今回花粉症対策品種として開発された「遠田2号」は3倍体で成長が良く、「加美1号」はさし木増殖の発根率が高い品種です。

宮城県ではこれまでに少花粉品種は3品種開発されていましたが、今回新たに2品種が開発されたことにより、利用の幅が広がることが期待されます。すでに宮城県では花粉症対策苗木の生産も行われており、年間6万5千本（平成26年度実績）が生産されており、今回開発された2品種の苗木も含まれています。

(用語解説)

1. 東部育種区：林木育種事業での地域区分を表し青森県、岩手県、宮城県の地域を指す。

担当・連絡先：国立研究開発法人森林林総合研究所
林木育種センター東北育種場
育種課：織部、井城、宮本
電話：019-688-4517
住所：岩手県滝沢市大崎 95

(参考1) 今回開発された品種



加美1号



遠田2号

(参考2) 東北育種基本区においてこれまでに開発された品種

選抜地	系統名	開発年度	配布区域
青森県	精英樹南津軽5号	14	第一区
	精英樹碓ヶ関ヶ7号	14	
	精英樹黒石5号	14	
	精英樹黒石6号	17	
	精英樹増川6号	17	
岩手県	精英樹岩手11号	14	第一区
	精英樹水沢6号	17	
宮城県	精英樹刈田1号	14	第三区
	精英樹玉造8号	17	
	精英樹宮城3号	17	
	精英樹加美1号	27	
	精英樹遠田2号	27	
秋田県	精英樹北秋田1号	14	第一区
	精英樹由利11号	14	
	精英樹秋田103号	14	
	精英樹仙北1号	17	
	精英樹雄勝3号	17	
	精英樹雄勝13号	17	
	精英樹上小阿仁107号	17	
新潟県	精英樹田川4号	14	第二区
	精英樹村上2号	14	
	精英樹十日町1号	14	
	精英樹高田1号	17	

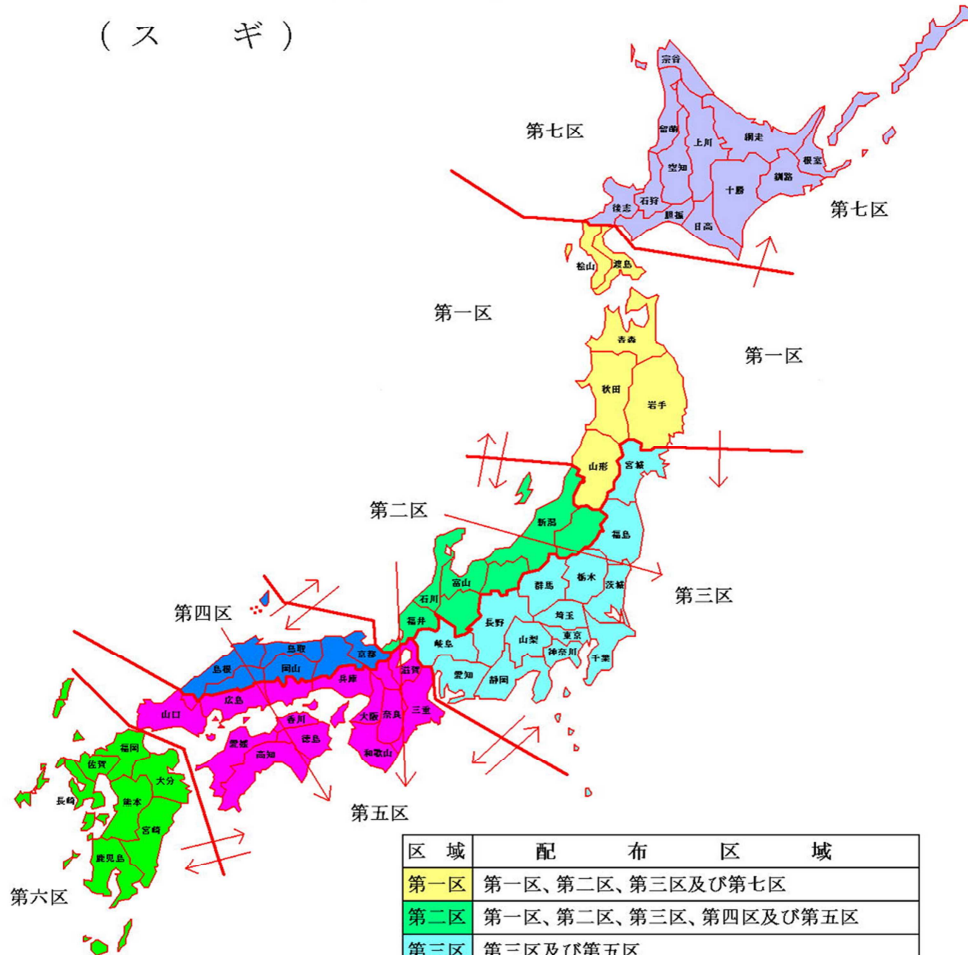
(参考3)

林業種苗法の配布区域について

林業種苗法では、造林の適正かつ円滑な推進を図るため種苗の配布区域を定めている。(下図を参照)

(※ 配布区域：一定の区域で、自然条件から見て育成に適すると認められる区域を配布区域として指定)

(スギ)



区 域	配 布 区 域
第一区	第一区、第二区、第三区及び第七区
第二区	第一区、第二区、第三区、第四区及び第五区
第三区	第三区及び第五区
第四区	第二区、第四区及び第五区
第五区	第三区、第五区及び第六区
第六区	第五区及び第六区
第七区	第七区

→ : 矢印の方向へ、種苗の配布(移動)が可能